

〈令和8年5月20日までのデータ〉

クサギカメムシ フェロモントラップ

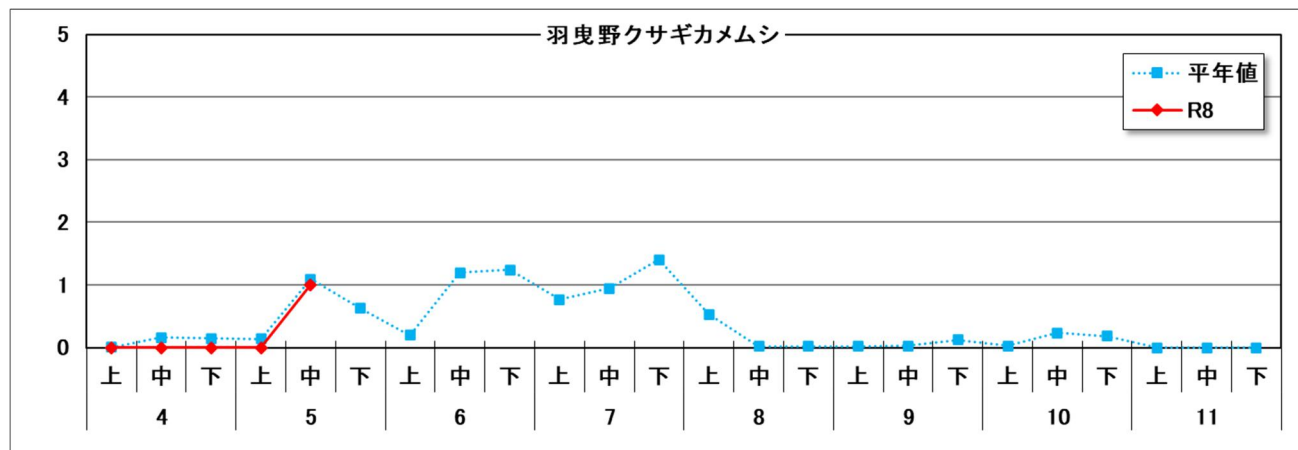
集合フェロモンを利用して発生量を調査しています。誘殺虫数が平年より増加した場合、果樹園への成虫飛来が多く、吸汁被害が発生することがあります。

クサギカメムシは、もも、うめ、かき、発生量が多い場合にはぶどう、みかんなどを加害します。

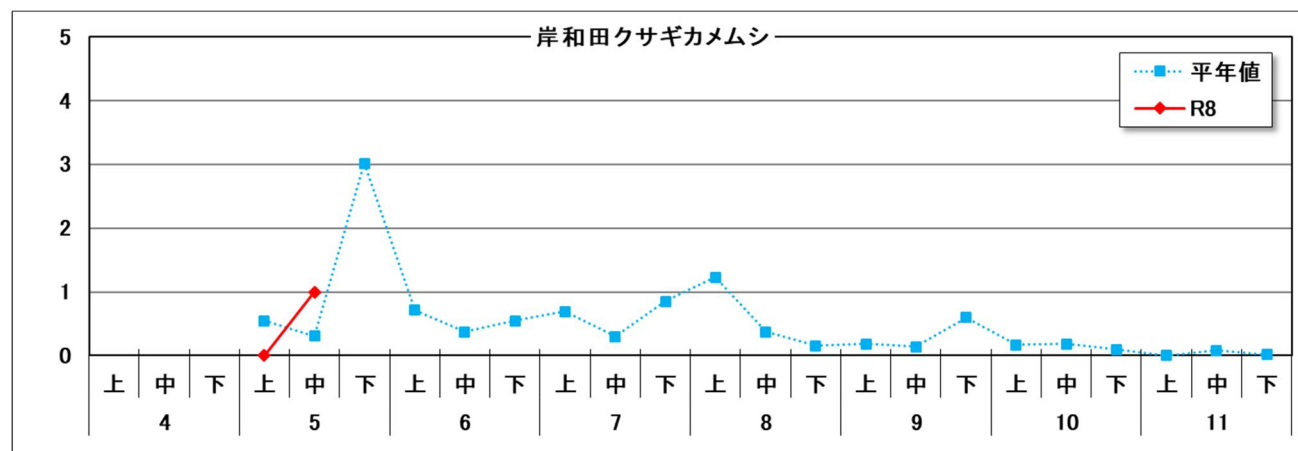
〈調査地点〉羽曳野市、岸和田市、河内長野市

誘殺虫数(旬別) ※縦軸の目盛りはグラフごとに異なりますのでご注意ください。

羽曳野	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R8	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平年値	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



岸和田	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R8				0	1		1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
平年値				1	0	3	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0



〈令和8年5月20日までのデータ〉

河内長野	4			5			6			7			8			9			10			11		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
R8				0	0																			
平年値				0	0	2	1	1	1	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

